

屋代高等学校附属中学校 オーストラリア研修4日目 報告書

現地校生活3日目を迎えました。徐々にバディとも距離が縮まっているようで、自分が話したことを理解してくれたときの喜び、それによって自信が付いたこと、スポーツで声をかけ合うなどのコミュニケーションを通して仲間意識が芽生えたことなどが日記から読み取れます。次なるステップは、会話を続ける、ということです。まずは自分から話しかけると言う目標は多くの生徒共通のもので、今日は確かに自ら質問をしたり、単語で終わらせないよう文章で答えようとする場面をよく目にしました。まさに有言実行です。

そして、ホストファミリーへのお土産をようやく渡せたところですが、バディへも話のきっかけに…とお土産を用意してきており、明日こそは渡したい！と意気込んでいます。生徒によっては毎日違うバディが来たり、2人以上のバディがついたり日々状況が変わりますが、そういったことにもあまり動じなくなってきたように感じます。この国のおおらかさについて語っている生徒がいましたが、ちょっとしたハプニングも受け入れるしなやかさを身に付けたようです。自分はちょっと真面目過ぎたかも、と感じたり、英語もペーパーテストだけ良くて意味がないんだ、と実感したり…日記では正直な心の内を垣間見ることができます。

こちらの生活に馴染んでくる中で耳も慣れてきたのか、オーストラリア英語の発音の違いについて実感する生徒が増えました。本当に Today をトゥダイと言うんだ！など、事前に聞いてはいたものの、実際に耳にするまでは信じられなかったようです。これもホストファミリーやバディと会話量が増えたことを意味しています。

現地校の授業では、先生や現地生徒の英語は理解できなくとも、内容は日本ですでに学んでいることも多く、数学の問題を解いて「You are smart!」と褒められたり、丁寧にクラフトを作り感心されたり、日本人として株を上げることも増えてきました。科学の授業をしていたはずがハリーポッターの話題になっていた…と言う謎の展開も相変わらずありますが、そういったことほど楽しんでいきます。

今日は生徒代表の岡本くん最後の情報共有の司会をお願いしました。ホストファミリーやバディと何を話したか？お土産を渡したか？（いまだに手元に残している生徒も…）どのように話かけているか？と言うトピックです。今日は事前に決めた7グループで話し合いを行いました。自分なりの工夫や、経験談を共有していましたが、ちょっとした失敗談は皆あるもので、自分だけではないんだと励まされていました。また、先生方からいただいた激励のメッセージを河合先生より伝えられ、生徒からは時折笑いも起きながら嬉しそうに聞いていました。毎日が挑戦の日々ですが、多くの方の応援を受け、残り1日の現地校での生活を全力で Enjoy してほしいです。



バディとの1枚



授業中も余裕が出てきました



本日の振り返り